

自分も地元でお世話になっているから、温泉については今まで控えていました。ところが、町会議員やめれば何も一票ももらう必要もないし、最後ですから、厳しく、びりびりここで攻めたいと思います。いや、本当に、皆さん笑うところじゃないですよ。これ見たらわかるでしょう。

去年の4,100万円の繰越金をことし使用料、財産収入で皆使って減額補正して、こんなばかなことないんじゃないかというのは、我々は監視の立場から見た場合は、同郷であるやくらいのも所長であるけれども、厳しく質問するわけでございます。例えばのことだからね、電気料。そのほかにもあるわけだ。調理師。一般質問でも、やっぱり調理は3年に1回ずつ板前をかえて、受け皿をかえて、初めてお客が来るんだと。何だ、あのざま、あの料理。いつでも同じじゃないかというのは、坂本先生も常に批判している。そういうことがさっぱり今まで改革なっていないんじゃないかと言いたいんです。答弁願います。

議長（米木正二君） やくらい高原温泉保養センター所長。

やくらい高原温泉保養センター所長（早坂忠幸君） 三嶋議員さんには毎日、隣り合わせで仕事をしていますけれども、私も行きまして1年になります。それで、16年度の見通しをいずれ御報告しなければならないんですけれども、私が担当している施設は6カ所あります。一つは薬師の湯、それから宿泊の林泉館・都邑館、コテージ、駒庄、ぶな林、ウォーターパークです。ということで、ウォーターパークは一般会計なんですけれども、その中で入館者の落ち込みのない箇所がぶな林です。地ビールのぶな林が昨年度、ピルスナー部門なんですけれども、金賞をいただきまして、そのおかげといたしますが、去年実績で2万8,000人ほどの入館者数だったんですけれども、ことしは2万9,000人ぐらいいく予定です。それから、大体去年と同じぐらいなのが駒庄のそば屋さんです。あと、それ以外は、薬師の湯については、去年が15万4,000人程度でしたんですけれども、ことしは13万5,000人ぐらいになるかなという見込みです。それから、ウォーターパークの方が、去年11万人あったんですけれども、10万3,000人ぐらいということで、どこに原因があるのかなということでいろいろ内部でも検討等をしているんですけれども、温泉施設については、薬師の湯ができた以降、今では各町に1カ所、多いところでは二、三カ所あるんですけれども、そういうことで競争が大変激しい状況です。

ということで、先ほど質問にあったんですけれども、地ビールに関しては若干の入館者数は多いんですけれども、先ほど電気の話も出たんですけれども、何ら手だてをしていないということではなくて、ことし、私も行って、時間が9時までと先ほど言ったんですけれども、8時になってもお客さんが来ない日もあります。ということで、時間的な面を全部調査しました。

そうしたら、平日の分で6時半以降ですか、幾らの人数もトータル的に来ていないということで、1月と2月は一応6時半で閉めるようにしました。あとは夏場でその分を頑張るということで、そういう感じで経費節減といいますが、そういうことは常々やっているつもりです。

それから、薬師の湯、そのほかの施設もなんですけども、例えばお客さんに迷惑はかかるんですけども、トイレ等の電気をひんぱんに「御協力願います」ということで、消したりするような指導もしております。

それから、先ほど言いました調理師の関係なんですけども、調理師については、林泉館にいます料理している方はあそこができたときからずっといる方なんですけども、その方々とも再三お話を今しております。私行ってから、特に副社長についてはたびたび来てもらって、一緒になってお話ししたりやって改善に努めている状況ですので、来年以降はこういう感じで大きく減額とか入館者の落ちないような努力もやる予定です。これは新年度、17年度の予算が審議の中でも多分出ると思うんですけども、そういう方策等も検討して、新年度の予算の段階でお話するつもりでいますけれども、いろいろな検討委員会とか各施設で企画をつくって、年間計画を施設でつくって、それに向けて営業担当という部門をつくる予定です。今までは全然なかったんですけども、やっぱりそういう担当部局がないと、あのぐらいの施設の運営はなかなか難しいんじゃないかということで、そういう配置を今後、来年に向けてする予定です。以上です。よろしく願いいたします。

議長（米木正二君） 29番。

29番（三嶋 等君） 所長、長々と答弁した中でも納得いかない点があります。というのは、今、終わりあたりに営業を今から考えるというような話は、旧小野田町におきましても、その問題で営業はやるべきということで、議会で町長も「営業をやってお客さんを減らさないように努力します」ということを言っています。現在、振興公社の理事長である町長にお尋ねしますが、そういう考えで今までやっているのか、やっていないのか。

そして、今度は最後に、去年は4,100万円の繰入金があったからこそ、まあまあ決算ができます。来年からこのまま減った場合4,000万円の赤字決算になります。そうした場合の措置として、私は町会議員に立つのであれば決算のとき厳しく言うから、きょうは言わないで、決算のときでいいけれども、私、立候補しないから言うチャンスがありません。そのためにきょう言うのでございます。その点、2点ほどひとつ明解な答弁を求めます。

議長（米木正二君） 町長。

町長（星 明朗君） 御指摘のとおりでありまして、私は昨年4月に社長に就任をいたしま

して、努力を職員に対して、いわゆる会社でありますから、皆さんのための、この会社がつぶれれば皆さんの雇用もなくなるということでもありますから、経営者となったつもりで頑張ってもらいたいという訓示を申し上げたつもりであります。

営業活動もやってはいるんでありますが、本格的な部分としては来年度、17年度から所長以下PRに努めて、営業活動もするということでございますので、御理解をいただきたいと思っております。

諸経費を切り詰めて切り詰めてやっていこうと思っておりますし、地ビールの部門についても、私自身は少し高いのではないかと考えています。これまでも取締役会等々で申し上げてきたんでありますが、ちょっとおっかない部分があると。下げて売ればいいのでありますが、下げても売れなければ、それだけ減収になってしまうということでもあります。しかしながら、ある会合でお話をいただいて、例えばお中元、御歳暮に使っても、それだけの値段に見てくれないというところで、なかなか使えないんだというお話もありましたので、取締役会等々で値下げをしたいと思っております。それで、できるだけ職員にも働きかけを行っておりますけれども、大いに使って飲んでいただくということ。

それから、パークゴルフ場もできましたし、いわゆる宿泊、入湯——入湯の部分はどうしても入湯者が少なくなっております。しかし、入湯税が下がりましたので、町の収入もそれだけ落ちてきます。今回、入湯税が下がった部分について、いわゆる入場者に反映させないで収入増を図ろうと。これは行ったり来たりのことなんでありますが、そういう努力もしながら、平成17年も経営努力をしてまいりたいと思っております。

電灯のお話が出ましたけれども、早々と電気を消してしまうと、「ああ、休みなんだな。終わったのだな」ということで、入るお客さんも入らなくなるのかなという思いもあって、なかなか難しいことではありますが、私自身もたびたび行って努力をしますので、今年度はお認めをいただいて、どうぞぜひお見守りいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(「答弁漏れ。もう一つ 4,100万円。来年赤字出たらなじょするんだか」の声あり)

議長(米木正二君) 町長。

町長(星 明朗君) 繰越金の問題であります。予算編成のやりくりと申しますが、そういうことにも言及するわけではありますが、今年度はこの補正予算を組んだことによって赤字決算にはならないだろうと思っております。それで、新年度予算の審議もお願いするわけではありますが、特別会計は赤字というわけにはいきませんので、やっぱり一般会計からの補てんということで帳じりを合わせると言うとおかしいわけですが、一般会計からの余り補てんを期待しないで、

社員一同頑張るという気構えであるようでありますので、どうぞお認めをいただきたいと思えます。

議長（米木正二君） 29番。

29番（三嶋 等君） さっき地ビールの話が出ました。ビールづくりには予定を組みまして樽で何リットル、そして申告して、余った時期がありました。余って投げたようなこともありました。そういうことはありませんか。確認のために。

議長（米木正二君） やくらい高原温泉保養センター所長。

やくらい高原温泉保養センター所長（早坂忠幸君） 地ビールは、量的には、15年度で15キロリットルです。16年度は20キロリットルぐらいまでに伸びる予定です。それで、今、余っている分という話なんですけれども、それも賞味期限が大体1カ月ぐらいなんですけれども、例えば内部で切れる分はなるべく消化するように、例えば1カ月ぐらいで回転しているんですけれども、その中でそういう努力もしているということで、そういうふうにして、賞味期限をまるっきり過ぎた分は、回収した分は捨てている分もございます。以上です。よろしくお願いいたします。（「大量ではないという意味な」の声あり）……ではないということです。

議長（米木正二君） 28番坂本せんさん。

28番（坂本せん君） 大変三嶋議員から貴重な意見が出てまいりました。薬師の湯は非常に好まれて、青森方面から年に4回ぐらい来て逗留している方もおります。1カ所さえきちんとやれば薬師の湯はどんどん向上しますので、所長は心得ていると思いますので、その辺をきちんとやっていただければいいと思います。調理の方をきちんとやっていただければ、非常に薬師の湯は燃えてくると思いますので、特に町長の施政方針ですか、あれに70歳以上半額とかと出てきましたし、むしろ無料にさせていただいて、高齢者から掃除や何かをお手伝いするようなシステムにやっているところもあります、全国の町営では。それは難しいと思いますから、とにかく皆さんが利用できるように、そして、ハイルザーム栗駒ですか、ここはとことん赤字になりながら、やっぱり管理者が違って、今、黒字にやっているところへ私も団体で行ってまいりました。やっぱりその辺なんかももっと勉強していただいて、せっかくの施設でございますから、皆さんに喜んでいただくように努力に努力をしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

議長（米木正二君） これは要望ですか。（「はい」の声あり）

その他質疑ございませんか。10番千葉明朗君。

10番（千葉明朗君） ちょっとだけ聞きます。前回の予算のときも、ちょっとそういう質問を

したと思うんですが、保養施設薬師の湯から7番目のぶな林までそれぞれ経営の状況が皆違うわけですが、基本的に客1人当たりの基本単価、販売促進を進めることによって、どれだけ1人当たりの単価を上げるのか。通年ですね、1年間で。それから、季節とか節目節目に特別イベントによって上がる販売促進、こういうものをきめ細かにしながら販売促進と運営の収入計画、支出計画までの年間行事計画、経営計画ですか、こういうものはおつくりなんでしょうね。

議長（米木正二君） やくらい高原温泉保養センター所長。

やくらい高原温泉保養センター所長（早坂忠幸君） 先ほど三嶋議員さんの答弁でもお話ししたんですけれども、年間スケジュール的な計画といたしますか、それは施設施設としては特別にはないようです。それで、今度、3月の主任者会議、毎月上旬にあるんですけれども、その時点で各施設全部出すということに主任者会議で決めました。それで、例えば林泉館であれば、春のさなぶりプランとか日帰りプランとか、そういうプランですね。あと、宿泊のいろんなプランとか、そういうのを出して、あと各施設の連携的なプランもつくと。つくって、先ほども申したんですけれども、営業担当ができますので、そのところでそういうパンフレットをつくって宣伝して歩くと、そういう部門も設けて年間スケジュールを立ててやっていくということ。以上です。

議長（米木正二君） 10番。

10番（千葉明朗君） 民間から見ますと、その程度では上がらないんです。私言うのは、それは大なり小なりおやりになるんでしょう。やっているんでしょう。ただ、私は、施設ごとにそれぞれの特色があるんです、この名前のとおり。そうしますと、施設の特色あるもの。今、料理の問題が出ましたね。これは最たるものだと私も思いますよ。宿泊施設、温泉施設で料理が悪いと言われたらバンザイですよ、はっきり言って。こういうものを逆に、料理いいよ、接待の方はちょっと、余りきれいなお姉さんは少ないけれども、料理は抜群だねという、このぐらいでないとは私はいかんと思うんです。これは去年も言っているんですよ。それが今、この時点でまた料理が悪いという質問が出たというのは残念ですね、これ。これは三大要素ですよ、販売促進の。その辺じっくりひとつ17年度はやっていただきたい。

もう一つは、やはりここにいる従業員の人が、それぞれの施設ごとにいい意味での販売コンクールをやるとか競争をされるとか、そういう全員セールスですよ。宿泊施設ですと売店がありますね。きょうは浜の方から来る団体さんがいますよといったときに、浜のものを置いていてもだれも買わないんです。 「ようし、じゃあ山のものをそこに並べて売ろうじゃないか」という、こういう販売促進。その日その日の計画がなければ販売促進じゃないんです。参考ま

でですけれども、その辺のところをじっくりひとつ17年度はお願いしたいと思います。必要によっては私も応援に行きますので、声をかけてください。お願いいたします。やる気持ちだけひとつ答えてください。

議長（米木正二君） 町長。

町長（星 明朗君） ただいまお料理の話が坂本議員さん、そして千葉議員さんから出ました。実は昨晚、議会が終わって、ちょっと時過ぎてからだったんですが、葉菜振興公社の職員の皆さんとの新年会、御案内をいただきましてごちそうになりました。大変いいんです。びっくりしました。「これはきょうだけなの」と言いましたら、「いや、これは 3,000円のお料理で、通常お出ししているお料理です」ということでございます。私も新年になってからだったかな、家族で泊まりに行きましたけれども、とってお料理はいいと思うんです。ただ、2万円の旅館と 8,000円のところでお料理を比較するというのは、しょせん無理なんですよ。ですから 8,000円から 1万円のレベルでは非常にいいと思います。ですから、きのう私が申し上げたのは、「お料理がいいやくらい薬師の湯、林泉館と宣伝しなさい」と申し上げました。「ただし 8,000円の泊まりですよ」というのを付け加えなければいけないかもしれませんが、結構いいです。どうぞきょう行ってお食べになっていただいたら、びっくりすると思います。結構毎年勉強して改善をしています。私はお酒をごちそうになったので食べ切れなかったのかもしれませんが、本当にいいです。どうぞごらんいただきたいと思います。それぞれ努力をさせていただいておりますので、御理解いただきます。

議長（米木正二君） 10番。

10番（千葉明朗君） 苦情、文句じゃないんです。激励のつもりで言った言葉でございますので、ひとつ担当課長も頑張ってください。

議長（米木正二君） そのほかございませんか。（「なし」の声あり）質疑なしと認めます。これにて質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論ございませんか。（「なし」の声あり）討論なしと認めます。これにて討論を終結いたします。

これより議案第27号平成16年度加美町小野田温泉保養センター等事業特別会計補正予算（第2号）の採決を行います。

お諮りいたします。本件は原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（米木正二君） 御異議なしと認めます。よって、議案第27号平成16年度加美町小野田温

泉保養センター等事業特別会計補正予算（第2号）は、原案のとおり可決することに決定いたしました。

---

日程第33 議案第28号 平成16年度加美町下水道事業特別会計補正予算（第3号）

議長（米木正二君） 日程第33、議案第28号平成16年度加美町下水道事業特別会計補正予算（第3号）を議題といたします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長。

町長（星 明朗君） 議案第28号平成16年度加美町下水道事業特別会計補正予算（第3号）について説明申し上げます。

今回、既定予算から歳入歳出それぞれ 299万 8,000円を減額し、歳入歳出それぞれ15億 2,154万 8,000円とする補正予算と、処理場維持管理業務等3件の債務負担行為の追加、及び地方債の変更を行うものであります。

歳入につきましては、町債で 300万円を減額し、歳出につきましては、一般管理費40万円、施設管理費 170万 8,000円、下水道建設事業費69万円を減額し、予備費を充当しております。

よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いを申し上げまして、提案理由の説明といたします。

議長（米木正二君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑ございませんか。（「なし」の声あり）質疑なしと認めます。これにて質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論ございませんか。（「なし」の声あり）討論なしと認めます。これにて討論を終結いたします。

これより議案第28号平成16年度加美町下水道事業特別会計補正予算（第3号）の採決を行います。

お諮りいたします。本件は原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（米木正二君） 御異議なしと認めます。よって、議案第28号平成16年度加美町下水道事業特別会計補正予算（第3号）は、原案のとおり可決することに決定いたしました。

---

日程第34 議案第29号 平成16年度加美町工業用地等造成事業特別会計補正予

算（第2号）

議長（米木正二君） 日程第34、議案第29号平成16年度加美町工業用地等造成事業特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長。

町長（星 明朗君） 議案第29号平成16年度加美町工業用地等造成事業特別会計補正予算（第2号）について説明を申し上げます。

今回、既定予算から歳入歳出それぞれ5億3,152万1,000円を減額し、歳入歳出それぞれ515万2,000円とする予算補正と、雁原工業団地の用地取得・造成事業に係る債務負担行為2件の設定を行うものであります。

歳入につきましては、土地売払収入5億3,552万1,000円を減額するほか、一般会計繰入金400万円を増額し、歳出については、工業立地整備費5億3,020万3,000円を減額し、予備費を充当しております。

よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いを申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。

議長（米木正二君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑ございませんか。（「なし」の声あり）質疑なしと認めます。これにて質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論ございませんか。（「なし」の声あり）討論なしと認めます。これにて討論を終結いたします。

これより議案第29号平成16年度加美町工業用地等造成事業特別会計補正予算（第2号）の採決を行います。

お諮りいたします。本件は原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（米木正二君） 御異議なしと認めます。よって、議案第29号平成16年度加美町工業用地等造成事業特別会計補正予算（第2号）は、原案のとおり可決することに決定いたしました。

---

日程第35 議案第30号 平成16年度加美町水道事業会計補正予算（第4号）

議長（米木正二君） 日程第35、議案第30号平成16年度加美町水道事業会計補正予算（第4号）を議題といたします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長。

町長（星 明朗君） 議案第30号平成16年度加美町水道事業会計補正予算（第4号）について説明申し上げます。

今回、既定の収益的収入及び支出予算の総額を補正前と同額の5億777万1,000円とする補正予算で、営業費用20万円と特別損失44万7,000円の増額分を予備費から充当するものであります。

よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いを申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。

議長（米木正二君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑ございませんか。（「なし」の声あり）質疑なしと認めます。これにて質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論ございませんか。（「なし」の声あり）討論なしと認めます。これにて討論を終結いたします。

これより議案第30号平成16年度加美町水道事業会計補正予算（第4号）の採決を行います。

お諮りいたします。本件は原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（米木正二君） 御異議なしと認めます。よって、議案第30号平成16年度加美町水道事業会計補正予算（第4号）は、原案のとおり可決することに決定いたしました。

お諮りいたします。本日の会議はこの程度にとどめ延会いたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（米木正二君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会とすることに決しました。

本日はこれで延会といたします。

なお、明日は休会とさせていただきます。24日は午前10時まで本議場に御参集願います。

大変お疲れさまでした。

午後4時53分 延会

上記会議の経過は、事務局長澤口 信が調製したものであるが、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成17年2月22日

加美町議会議長 米 木 正 二

署 名 議 員 吉 岡 博 道

署 名 議 員 藤 原 耕 夫